総社市

-そうじゃし-

総社市は岡山県南西部に位置し、モノづくりや農産物の生産に適した豊かな環境と市内を流れる高梁川の清流、瀬戸内の温和な気候風土の恵み、そして古代吉備国や備中国の歴史財産が残るまちです。様々な福祉政策に力を入れていることから子育て世代の転入も多く、市の人口は増加傾向が続いています。

あなたにとって一番やさしいまち　そうじゃ

実現のための５つの基本目標

基本目標① だれもが安心して**住み**たくなる総社

一人ひとりの人生をサポートする	◆子育て　◆健康・医療　◆高齢者福祉　◆障がい者・児福祉　◆ひきこもり支援
生活をどんどん便利にする	◆住宅・都市整備・公共交通等　◆移住・定住促進
市民の安全を守り抜く	◆防災・減災・消防　◆防犯・交通安全・消費者保護　◆復興　◆自然・環境　◆感染症対策

基本目標② だれもが安心して**働き**たくなる総社
- ◆雇用
- ◆企業誘致・商工業
- ◆農林業

基本目標③ だれもが安心して**学び**たくなる総社
- ◆学校・幼児教育
- ◆家庭・地域教育
- ◆スポーツ・文化・生涯学習
- ◆人権教育・青少年健全育成

基本目標④ だれもが安心して**集い**たくなる総社
- ◆市民参加
- ◆広域連携
- ◆市役所・公共施設
- ◆魅力発信

×

基本目標⑤ だれもが安心して**訪れ**たくなる総社
- ◆観光

SOJA　CITY

総社市まち・ひと・しごと創生計画

地方創生に関連する事業への活用のため、企業版ふるさと納税による寄付を募集しています！

災害に負けない しなやかなまちづくり

　本市は、平成30年西日本豪雨災害により、大きな被害を受けました。その経験を活かし、災害に強い社会基盤の整備を進めるとともに、地域一体となった、災害をしなやかに受け止める体制の整備を行うなど安心・安全なまちづくりを行っていきます。

★アピールポイント

地域の絆で災害に立ち向かう。
力をあわせて強い総社市を作りましょう！！

儲かる農業を推進

　総社市は主に米、野菜、果樹が栽培されており、特に白桃、ぶどう、セロリは県有数の産地です。さらに農業を盛り上げるべく、 「地食べ事業」を核とした地産地消の推進、販路の拡大、新規就農者や優良農地の確保などに取り組んでいます。高付加価値化を推し進めることで、農家の皆さまの「儲かる農業」を実現します。

★アピールポイント

やる気のある総社市の農家の皆様を
応援するために使わせていただきます！

そうじゃ吉備路マラソンを通じた地域活性

　総社市のシンボルである備中国分寺五重塔を中心とした歴史回廊マラソン大会。フルマラソンを始め７種目実施し、車いすの方などすべての方が参加でき、全国から10,000人を超えるランナーが集まります。

　「みんな」参加できる・支えあう・主役になれるをテーマに地域の活性化につなげ、総社市を全国に発信していきます。

★アピールポイント

「みんな」で作り上げるそうじゃ吉備路マラソン。
「みんな」の一員として、一緒に大会を作っていきませんか？

総社市の魅力を全国に発信

　総社市のイメージキャラクター「チュッピー」は、総社市内外に多くのファンを持ち、ゆるキャラグランプリ２０１６では全国第３位という実績の持ち主です。チュッピーによる、SNS等での総社市の魅力発信や地域交流を通じて、全国の方に総社市に愛着や共感を持ってもらう取組を行っています。

★アピールポイント

チュッピーのハートの尻尾を触ると幸せになるらしい！
そんなチュッピーと総社市を盛り上げましょう！

重点施策

障がい者千五百人雇用事業

福祉振興
雇用維持・創出

目標金額	数値目標
-	-

現状・課題

総社市では、障がい福祉施策として、「総社市は障がい者の「雇用」に責任をもちます」という方針を掲げ、2011年度から５年間で障がい者1,000人雇用を目指す、「障がい者千人雇用事業」を実施し、2017年度に目標を達成。現在は目標を変更し「障がい者千五百人雇用センター」を設置し、雇用促進をおこなっています。

障がい者の雇用は一人ひとりの特性に合った支援が必要となるため、幅広いジャンルの雇用先を開拓しています。

事業の目的・内容

障がい者の1,500人雇用に向けては、「障がい者千五百人雇用センター」、国の機関である「ハローワーク総社」と「総社市」が連携し、福祉から就労へという考え方のもと、ワンストップの相談窓口で専門家を配置し、マンツーマンでの細やかな支援を行っております。

ひとりひとりが抱えている問題はそれぞれ違うことから、仕事のマッチングから日々の生活面でのサポートを行うことが重要です。また、自分で金銭管理ができるかなど細やかな部分も話し合い、自立した生活の実現に向けた取組みを行っています。

お問合せ先

福祉課　0866-92-8269

重点施策

空き家等を活かしたまちづくり

まちづくり
移住・定住

総事業費

-

数値目標

-

現状・課題

　総社市では、さまざまな福祉施策により、子育て世代を中心に人口がふえていますが、その一方で、今後空き家の増加が予想されます。この問題に対応するため、本市では空き家バンクによる利活用の推進はもちろんのこと、地域性に応じた空き家対策を進めるべく、地域住民と協働しながら取り組んでおります。

事業の目的・内容

　空き家対策においては、地域性や空き家等の管理状態、所有者の状況など、物件により問題が多岐にわたることから、空き家予防のための啓発や空き家の掘り起こし、流通・利活用の促進、除去等の多様な視点を持った対応が必要となります。

　そのため、総社市では令和６年度から新たな空き家対策支援メニューを作成し、空き家やその跡地活用を進め、移住・定住につなげています。

【空き家対策支援メニューの一例】

- 利活用が難しい空き家も宅地として登録できる「空き家付宅地再生バンク」
- 空き家の解体撤去に係る固定資産税等の減免
- 地域ぐるみで空き家の利活用に取り組むインセンティブ事業（地域交付金）

お問合せ先

人口増推進室　0866-92-8308